

## 平成30年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会 議事概要

### 【日 時】

平成30年9月20日（木） 午前10時～12時

### 【場 所】

柴田町役場 2階 特別会議室

### 【出席者】

柴田町男女共同参画推進審議会委員 8名（別紙のとおり）

事務局（柴田町まちづくり政策課） 3名

### 【資 料】

- ① 平成30年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会次第
- ② 平成30・31年度柴田町男女共同参画推進審議会名簿
- ③ 平成30年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会協議の進め方について
- ④ 第4次しばた男女共同参画プラン
- ⑤ 第4次しばた男女共同プランに基づく平成29年度事業実績及び平成30年度事業計画 施策事業評価シート
- ⑥ 「W I T2018 宮城」チラシ

### 【内 容】

進行：事務局（鹿又）

※審議会は公開とされているため、録音機器で協議を録音したものをもとに議事概要を作成し、町ホームページで公開する旨を説明。

### 【議 事】

#### 1. 委嘱状交付

委員改選に伴い全員に委嘱状を交付。

#### 2. あいさつ（柴田町長：滝口茂）

平成30年、31年度の柴田町男女共同参画推進審議会ということでよろしくお願ひいたします。

男女共同参画社会の実現に向けて、これまでの取組でプラス面は社会参画ですね。生きがいつくりや健康づくりにおいて女性の活躍が目立ってきており、社会・企業・団体としていろんな女性の方中心に地域の問題解決に取り組む姿が見え始めております。

ただし、逆にマイナス面も生まれていて、DV問題や一人親の影響からか子供の貧困の連鎖という新たな問題が出てきております。

また、まだまだ女性に対する想いが足りないということで話題になりました、東京医科大学の不正入試の問題でございます。政策の決定や組織の方針決定への女性の参画という面において、日本はまだまだ不足しているのが現状ではないかなと感じているところでございます。

柴田町は社会参画や社会問題の対応ということで女性の活躍が目立ってきております。農村部や商工会女性部は一生懸命で、地域を盛り上げる活動をしていただいております。また町議会では女性議員が6名で、全体の33%となっております。東北ではおそらく柴田町だけだと思いますし、職場内で今は男女問わず能力のある者を幹部職に据えるという雰囲気になってきているのではないかなと思っております。

町にいろんなご意見をいただくのですが、全て同じような力の入れ方でやっていくというのはなかなか難しいことです。私としてはやはり妊娠から子育て支援まで切れ目のない体制をどう作っていくかということ、ひとつ大きな柱に据えていきたいと考えております。また防災関係において、今までは男女区別なく防災避難所をどう運営するかということに目が向きがちだったのですが、もうひとつ深掘りして女性の面から避難所生活がどうあるべきかということもこれから考えていかなければならないのかなと思っております。

そういった意味で、いろんな立場の方々にお集まりいただいておりますので、柴田町に合った推進審議会をお願い申し上げまして、審議会開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞ2年間よろしく願い申し上げます。

### 3. 委員の紹介

※名簿順に事務局から紹介及び各委員から自己紹介。

### 4. 会長及び副会長の互選

委員から推薦あり。会長に作山美智子委員、副会長に青木明委員が推薦され、全会一致により決定。

#### 【会長挨拶】

それでは僭越ながら2年間よろしく願いいたします。

今回町長さんがいみじくも東京医科大学の不正入試に触れました。女子は点数が10点くらい差し引かれていたり、あとかなり浪人をしてしまうとそこも間引いて合格を調整していたとか……。私は子供達が皆娘なものですからこの時代に本当にこんなことがあっていいものかと、えらくそれは憤りをもって感じました。そのようなことで、まだまだ私たちが目を向けていかなければいけないことがたくさんあるのかなと感じ

ております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議題に沿って進めてまいります。第4次しばた男女共同参画プランに基づく平成29年度事業実績及び平成30年度事業計画について事務局のほうから説明をお願いいたします。

## 5. 議題

### 第4次しばた男女共同参画プランに基づく平成29年度事業実績及び平成30年度事業計画について

～事務局から別紙平成29年度事業実績についてご報告～

<会長>

ありがとうございました。

今回委員の半分が入れ替わり、そして今まで継続の委員もおります。継続の委員は歴史的な経過も少し視野に入れながら、点を線で繋いでいくような視点で今後の施策の審議に参加できるかなと思います。

それから新しく参加された委員は、一点一点をチェックしてやるよというくらいの意気込みなのではないかと思います。いろいろ質問が多岐にわたってよろしいかと思えますので、どんな事でも構いません。1人5分くらいで、まずはご質問を頂戴したいと思えます。

<委員>

このシート、5年間分となっていますが31年と32年は白紙。28年度と29年度で比較してみると言っていますが、28年度は読みません。なので29年度と30年度の2年間をここに大きく書いていただければと思います。

あと空欄がいっぱいある課がたくさんあるんですね。どうすればいいのかというと、例えば計画・実績・評価のところを、計画・実施・結果・課題のように4つくらいに分けてもう少し細かく書いてください。

ページ1からページ9までは女性の活躍について、ページ10からページ27は環境の整備について、ページ28からページ35はそれらを支える基盤の整備についてという流れは非常に見やすいです。

ところが1ページから9ページは相変わらず低調なんです。なぜかというと、男女共同プランなのに女性のことしか書いてないんですよ。こういう場合女性だけに呼びかけるのではなく男性にも呼びかけて、男性も女性も参加することが大事なんです。なので1ページから9ページは、しばた両性共同参画プランくらいの気持ちで立ててほしいと思えます。

感激したのは保育所開設です。拍手喝采。これは素晴らしいですね。

あと先ほど町長さんがおっしゃっていた32ページ33ページの防災について、これは一つ取り出して死ぬ気でやってほしいです。今回北海道の胆振東部地震を見て、東日本の私達の経験を全然参考にできていませんでした。スマホやガラケーなんて何の役にも立ちません。役に立ったのは、現金、ローソク、乾電池、水、公衆電話です。唯一東日本を参考にできていたのはセイコウマートという便利店だけで、北海道民を助けたんです。

私達もこの頃地震多いですよ。必ず来ますよ、絶対に。

ここに1000人避難したらトイレが何件あるか、はっきりすぐ言えますか。この庁舎に10個も無いですよ。そこが問題なんですよ。

#### <会長>

まだ言い尽くせないところがあると思いますがこの辺で・・・。

この書式に関しては事務局でいろいろ工夫の末辿り着いたわけですので、いろんな文言の使い方については事務局に委ねていいのかなと思います。

それからいつもいろんな視点でご指摘をいただくので、場が盛り上がりますので本当に感謝いたします。

1ページから9ページのそのような視点と、それから防災関係についても身近な話題なのかなというふうに私自身も感じておりました。

それでは次の方どうでしょうか？

#### <委員>

防災ということで、いろいろな防災訓練があるのですが参加者は少ないです。というのは、参加者のほとんどが地区の役員及び班長さんなんです。切羽詰まらないというのが現状なのかなとは思いますが、まず関心度を高めるためにはどうしたらいいか、そこからやらなくてはいけないと思います。

例えば簡単な草取りだって絶対行かない人は行かないんですよ。用事があって行かないのではなくただ行かない。班長さんに会うと仕方ないとかって行くぐらいなんです。なのでそういう一人ひとりの意識をどうもっていくか。

もう少し皆で防災に関して、女性の共同参画にしても環境にしても、まず意識を高めるという根本的なことを考えればいいと思います。

#### <会長>

それでは次の方いかがでしょうか。

<委員>

今防災とかいろいろ問題あると思うんですけど、やはり人間の問題なのかなと思います。

私槻木に住んでいるんですけど、隣のおばちゃんと親子みたいにしゃべるんです。でも少し離れた所に行くと、回覧板を届けに行っても手だけ出されてあいさつもしたことないというのを結構聞くんですよね。隣の家から出ている木から自分の所に少し葉っぱが落ちただけでひと悶着あったりとか……。そのような人間対人間の問題が、結果的に男女平等とかそういったことにつながっているのではないかなと思います。

防災はこうしたらいいとか、この表に対しての意見とか私は言えないんですけど、ここで話したことが先の子供達に繋がるとすればすごく良い場なのかなと思います。私子供もいるので、皆さんの話を聞かせていただきながらいろいろ繋げていきたいなと思っています。

<会長>

審議会はいろんな委員がいて、いろんな年齢層がいることによって話し合いも深まりますので、どのように見たらいいのかということは、だんだん慣れていかれるかなと思います。

次の方がいかがでしょうか。

<委員>

私は角田市の医療機関に勤めています。昔は出産して休んでしまうと現場に戻るのが不安というのがあったと思うんですけど、今は戻ってきからのサポート体制ができていて一年間の育休をとられる方がかなり多いのかなと思います。病院のような医療の世界は、今医師も看護師も不足しているので、そのような中で女性の方が休んでもすぐに戻ってこられるような環境を職場でつくっていただいているというのはありがたいと思います。

あとイクメンの講座に参加者が少ないというシートについて、上の子が幼稚園に入った頃は夫婦揃って入学式等に参加することがあまりありませんでしたが、下の子の時は当たり前のようにお父さんもお母さんも入学式等に参加しているということを考えると、そういう講座を開かなくても会社でお父さんがそのような行事に出られるようにしていただいているんだろうなと思うんです。なのでわざわざイクメンと言わなくても、今のお父さん達はそのような部分で柔軟に対応してもらっているのかなと思っています。

先程防災の話も出ましたが、いろいろな役割が時にあると思うんです。男性の力がすごく必要な部分と女性の力がすごく必要な部分があるので、男女関係無く参加していくべきだなというふうに思います。

訓練をやるとなるとどうしても年配の人だけが集まって、炊き出しするよってなると防火クラブの人だけがやってしまうような状態になるので、もっと若い世代の人達にどんどん防災のほうに参加してもらいたいという話を区長さんからされました。

あと公的な機関では女性の管理職の方も少し増えてきていると思うんですけども、民間企業だと最初から給与の設定が男性の方のほうが有利というところがまだまだあると思いますし、能力があっても職場のシステムによってなかなか上に上がれないという現状があるのかなと思っています。

私生まれてからずっと柴田町に住んでいて、柴田町を明るくしていこうと同じような気持ちを持っている友達が周りにいるのでいろんなイベントの企画にも参加しているんですけども、柔軟なアイデアやいろんなイベントの企画を出せるのは女性のほうが力があるのかなって思っていました。以上です。

<会長>

女性の底力ですね。

次の方、なにかご意見どうぞ。

<委員>

私地元が村田で、柴田に来てまだ4年なんですね。

柴田町内で外回りをしていると年寄りが多いんですよ。多い中で少し若い人がいるとなっても、55歳から65歳位の仕事をしていない男の人が結構いるんです。その人達はお父さんやお母さんの年金で生活しているような状況なので、そういった部分も考えていけないといけないのかなと感じました。

あと地区によっては全然活発でないところがあって、子供の声なんかもう何年も聞いたこと無いという年寄りの人達も多いですし……。子供がいる地区は活発にいろんな事をやっていて、清住とか東小学校など、あっちのほうはそれなりに盛り上がっている地区のように感じます。

そういったのも含めて全体的に活性化していかないといけないと思うので、町全体を盛り上げるのであればそういった部分も考えていくのが必要なのではないかなと思いました。以上です。

<会長>

ありがとうございました。

次の方、ご意見をどうぞ。

<委員>

北海道の地震もあったということで、防災関係に関わる事が多くなっておりまして、

柴田町の小中学校全校の防災の授業に柴田町社会福祉協議会として入らせていただいています。その時にいろいろな話をさせていただいているのですが、震災当時の亘理の沿岸部に入った時にやはり男性が中心となって運営をしているのが多いということがありました。

しかし、そのような災害現場には女性の力が必要だという話を防災の授業の時にさせていただいております。男性だけの所だと何となく女性が発言しにくいですとか、どうしても女性にしか言えない方々もいらっしゃいますし、男女共同という観点から災害現場では男性の力も女性の力も両方必要なんだよという話をさせてもらっています。

低学年の所に行くこともあるんですけども、東日本大震災の事はもうすっかり過去の話で全然記憶が無いということを話しているので、そういう子供達がこれからどんどん大きくなって、実際に災害現場に行った際に男性も女性も両方の力が必要なんだよ、と伝えていく良い機会でもあるので大切なと感じております。以上です。

#### <会長>

ご意見ありがとうございました。

副会長いかがですか。

#### <副会長>

今年度副会長に選任していただきました。あと2年頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

女性の地位向上、完全ではないんですけども、当時から比べればおそらくびっくりするほど女性の力が上がってきているように感じます。私だけが思ったのかもしれないんですが男性ってなんて何もできないんだろうと、女性は全てにおいてやれると。

女性が地域でも会社でも職場の中で対等に出世をすればいいのかなと思うんですけども、力があってもそういう立場になりたがらない女性が多いのかなと思います。地区の集まりでもこの人がああいう事をやってくれたらと思うんですけども、私はいいと断って、結局そのような立場には男性になってしまう……。

しかし、色んなことに参加するということになると女性の参加が非常に多い。一方で男性はほとんど参加しないです。

そのような男性の資質と女性の資質というんですかね。女性は地域でもすぐお友達を作って集まって、「じゃこれしよう、あれしよう」という流れになるんだけど、きちんとした役場や地域の中での集まり、区や行政としての集まりになると、「私そういう長にはなりたくない。下だったらいくらでも応援するから」という話になってくるんです。

北海道の地震だけではなくて、毎年確実にくる大雨による水害や台風という非常に大きな問題があります。その時に女性が上の立場にいないと回らないような、女性は女

性でないとわからないものがあるので、やはり女性も行政の中で指導する立場になっていただきたいなと思います。

他にもいろいろ言いたい事があるんですが、なかなか思い出せない部分もあるので、また思い出したら発言したいと思います。会長さんよろしくお願いします。

<会長>

ありがとうございました。

女性は産む性とも言われるので、妊娠期間の十月十日の間、あのダイナミックな変化を体験できる性っていうのはすごいですよね。身体的にも精神的にも色んなストレスに耐えながら新しい命を産むという、そのような性なんだよということを私は看護の立場からこの場で述べたいと思います。そういったことをやり遂げられるのが女性なんですよね。もちろん弱い時もありますが、持久戦になると女性は結構上手に自分の能力を発揮できるかなというところも感じます。

それでは事務局のほうにお返しいたします。

<事務局>

続きまして平成30年度の計画について説明させていただきたいと思います。

～事務局から別紙平成30年度事業計画についてご報告～

<会長>

ありがとうございました。

この計画について何かご質問等ございますでしょうか。

<委員>

もう一歩進んだ波及効果の概算みたいなのがあればいいと思います。管理職になればいいということではなくて、女性の能力を活かして男女共同プランをつくったらこんなに良いことがあったという、これを目指すところだと思います。

それから色んな行事に人が出てこない、その時こそ奥さんが後ろから押し出してあげる、これがかけの男女共同じゃないですか？表に見えないかけの共同参画。そこをもっとみんな追求しないとだめなんですよ。

後ろから何となく支えてやる手段的なものに目を向けて、共同プランをつくり、それを呼び掛ける。無駄だと思っても、町がこういうことをやって呼び掛ける。

でも防災だけは、これは失礼ですが個人の力だけではだめです。



ボランティアも女性の力、男性の力だけ、個人の力の意識やそのような素直な気持ちで乗り切れるものではありません。あの地区に年寄が100人いたら、その100人をおぶって逃げるような実動体が役場には何人いますか。そのくらいの気持ちでやらないと災害がきたら乗り切れません。北海道の地震を見て人間は電気が切れたらどうなるかということをもっと真剣に考えて、東日本を教訓すべきだと思います。

アイデアが足りないんです。アイデアが無いから自分で評価して必要なんで書くんですよ。自分で必要だと思ったらやればいいんです。アイデアの無いプランはもう机上のプラン。今回3度目の委員なのできちっと言いますけど、やはりプランを生かせないというのはアイデアが足りないと思います。

#### <会長>

いつもユニークな発想、ありがとうございます。その波及効果、福祉的效果をプランの中に落とし込むというのは大変なことだと思いますけど、いろんなヒントが発言の中から感じられました。

女性はやはり一家の危機管理ということで毎日の食事を作るなど目立たないところからの力がありますので、女性枠を何割と決めてしまうような採用はできないんだろうかと思っています。

そのような形で施策的に手を貸さないと前に出にくいというのは当たり前かなと思います。私の職場の中においても、看護師集団というのは女性が多いので、少数派の男性も深層心理はやはりどこか外に出たいと思っているのかなというところも垣間見られるので施策的なバックアップを必要とするかなと思います。でも町も予算は無いので、どのようにしてボランティアマインドを育てていくのかというのは、今回新しく委員になった柴田町大好きでと言っていた方からの言葉から聞かれました。

新しい血が入ってきましたので、そういったところから少しずつ広めていくというのもまだ可能性があるのかなと思います。またユニークなご意見を今後どうぞよろしくお願いします。

あとは事務局にお返しいたします。

## 6. 副会長挨拶

#### <副会長>

本日は本当にお忙しい中、お集まりいただきましてどうもありがとうございます。皆様のおかげで活発な意見が出たと思いますし、初めてこの会に参加した方にもいろいろしゃべっていただいたので、普段考えている事が出たのではないかなと思います。

みなさんご苦労様でした。今日はどうもありがとうございました。